Ⅱ 農業集落用

1 表 紙(指標部)

2010年農林業センサス (案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
都道府県 市区町村 旧市区町村 農業集落 名 称	都道府県 市区町村 旧市区町村 農業集落 名 称	(変更なし)
基本指標番号。	基本指標番号	

1 表 紙(OCR対応部)

2010年農林業センサス (案) 2005年農林業センサス 変 页 内 容 (変更) 市区町村用調査票と入力方向を統一 人力力力向 入力力力向 向 人力力力向

2 立地条件等

2010年農林業センサス(案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
(条) (A) (【1】立地条件等 1 法制上の地域指定等 次に掲げる法制上の地域指定等に該当している場合は、該当するものすべてを○で囲んでください。	(一部変更) 振興山村地域、豪雪地帯、特別豪雪地

2 立地条件等(つづき)

2010年農林業センサス (案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
	2 自然保護等の地域指定 次に掲げる自然保護等の地域指定に該当している場合は、該当するものすべてを○で囲んでください。 国 国 国 国 (中) 別 保 自 然 環境 保 全 地 域 9 の の 所 側 か 次 源 か ん 選 度 保 全 地 域 域 域 域 域 域 域 域 域 域 域 域 域 域 1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ① ①	(削除) 法令等に位置付けられた施策上の利活 用又は政策の企画立案等に直接利用がないことから調査対象者の記入負担を考慮 し削除
2 最も近いDID(人口集中地区)までの所要時間 農業集落の中心地から最も近いDID(人口集中 地区)の中心地までの所要時間で該当するものひ とつを○で囲んでください。 農業集落に最も近いDID (人 口 集 中 地 区) 上記までの所要時間 01 15 分未満 (1) 15 分~30 分 (2) 30 分~1 時間 (3) 1 時間~1 時間 30 分 (4) 1 時間 30 分以上 (5)	3 最も近いDID(人口集中地区)までの所要時間 農業集落の中心地から最も近いDID(人口集中地区)の中心地までの所要時間で該当するもの一つを〇で囲んでください。 15分未満 15分~ 30分~ 1時間~ 1時間半 以 上 1時間半 以 上 01 ① ② ③ ④ ⑤	(一部変更) 基本的項目として継続 ※DIDの所要時間別分類の判定に必要な項目 調査対象者の負担軽減を図るためDI Dの属する旧市区町村名をプレプリント

3 農業集落の概況

2005年農林業センサス

変更内容

【2】農業集落の概況

1 農業集落内の総戸数

農業集落内の総戸数について記入して下さい。

2010年農林業センサス (案)

	総	戸	数	(戸)
0.1			•		•
01			•		

2 総土地面積・耕地面積の状況

農業集落の総土地面積、耕地面積を田、畑、 樹園地別にha単位で記入して下さい。

(単位:ha)

					面	秱	責		前回面積
6/1	土地面積	01		•			•		
形态。	上地則傾	01	•		•		•	•	
±#-	lub ====4±+>1.	02	•	•			•		
枡.	地面積計	02	•	•	٠	٠	•	٠	
	m	03			٠				
	田	05	•		٠	•		•	
	.l-m	0.4	1.0	5.			•		
	畑	04					•	•	
	사나 (크린 나사	O.F.				٠			
	樹園地	05							

【2】 地域資源の状況

農業集落の<mark>資源面積を記入</mark>してください。田、樹園地、畑はそれぞれの耕地の大半が立地している傾斜の程度について、<u>該当するものつ</u>っを○で囲んでください。棚田、谷地田及びため池は「か所数」を記入してください。

	か所数 (か所)	面積(ha) (ため池のみ(a))			平 緩 急 垣 地 地			
	1			Ć	2)			3
総土地面積 01		•	:	:	:	•	:	
田 02		•	:	:	:		:	① ② ③
棚 田 03		•	:	:	:	:	:	
谷地田 04	: :	•	:	:	:	:	:	
樹 園 地 05		:	:	:	:	•	:	(1) (2) (3)
畑 06	/.	٠	:	:	•	•	:	① ₁ ② ₁ ③
林野面積07		:		:	:	•	:	
ため池08		•				•		

(新設)

農村地域再生・活性化へのデータ提供に資するため、農業集落全体の集団範囲の把握及び限界集落の指標として農業集落の規模及び農業集落内の農家数割合の状況把握を図るため、「総戸数」を新たに把握

(変更)

水田・畑作経営所得安定対策の物理的 特例算定基礎及び基本的項目として継続 ※田の耕地面積規模別分類及び水田率 別分類の判定に必要な項目

「林野面積」「棚田」「谷地田」「ため池」及び「傾斜の程度」、「か所数」については、法令等に位置付けられた施策上の利活用又は政策の企画立案等に直接利用がないことから調査対象者の記入負担を考慮し削除

また、調査項目については前回値をプレプリント

4 地域資源の保全

2005年農林業センサス 2010年農林業センサス (案) 変更内容 3 地域資源の保全 (一部削除) 【3】地域資源の保全 この農業集落において、次の地域資源がありますか。地域資源がある場合は「ある」を、 農村地域再生・活性化へのデータ提供 次の地域資源が保全されている場合、「保全の根拠」及び「保全主 ない場合は「なし」を○で囲んで下さい。また、その地域資源を取り決めにより保全してい 体」の該当するもの一つを○で囲み、「保全の目的」の該当するもの 及び農業集落機能把握のため、地域資源 すべてを○で囲んでください。 る場合は「保全している」を、保全していない場合は「保全していない」を○で囲んで下さい なお、該当地域資源があるものの、保全していない場合は「保全し の保全状況を把握 ていない」を○で囲んでください。 保全して 保 全いないしている なし あり なお、調査対象者の負担軽減の観点か 保全の根拠 保全主体 保全の目的 ら地域資源の有無及び保全の有無別のみ 右の欄に「〇」をつ 農地 県市 地方公共団体 水資源の保全 けて下さい。 息保 町 観 光全 てい を把握 森林 農外 業を 集み 落む 落む す全 条 村 の資 の の 条例 保全 ため池・湖沼 保 「棚田」「谷地田」は、法令等に位置 な 河川·水路 付けられた施策上の利活用又は政策の企 4 5 農業用用排水路 画立案等に直接利用がないことから調査 対象者の記入負担を考慮し削除 谷地田 03 ı②ı③|①ı②ı③|①|①|①|①|①| 0.2.30.2.3000000000農業用用排水路 07

5 地域資源の活用状況

2010年農林業センサス (案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
	【4】地域資源の活用状況 1 地域資源を活用した交流事業の取組 地域資源を活用した交流事業の取組について、各項目別に該当するものすべてを○で囲んでください。 「行ってでいないい」 「行って 世界業集策と関した 観光 客の 受入 01 ① ① ① ① ② ③ 歴 地直 送を介した交流 02 ① ① ① ① ① ② 財産 生徒の農林穀構練学習の受入 03 ① ① ① ① ① ② 農林業が ラフィバ活動を介した交流 04 ① ① ① ① ① ②	(削除) 法令等に位置付けられた施策上の利活 用又は政策の企画立案等に直接利用がないことから調査対象者の記入負担を考慮 し削除

5 地域資源の活用状況(つづき)

2010年農林業センサス (案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
	2 地域資源を活用した施設 地域資源を活用した施設について、該当する施設の 「施設数」及び「利用者数」を記入し、「森林公園」 の遊歩道の状況について該当するものすべてを○で囲 んでください。	(変更) 調査母集団として利活用される「産地 直売所」については、市区町村で把握可 能であるため、市区町村用での調査に変
	施 設 数 (施 設) ① ②	更 それ以外の項目は、法令等に位置付け られた施策上の利活用又は政策の企画立 案等に直接利用がないことから調査対象
	ж 地 直 崇 所 O1 ° ° ° ° ° °	者の記入負担を考慮し削除
	市民農園の。。。。。。	(10ページ参照)
	農業・農村研修資料館 03 ・・・・・・	
	- B 04 · · · · · · ·	
	本林·林業研修資料館 05 °°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°°	
	体 験 実 習 林 06 * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
	森	
	ク施 キャンプ場 08 ・・・・・・	
	リ設	
	遊歩道遊歩道 バリアフリ がないがある る部分がある 3	

6 農業集落内での活動状況

2010年農林業センサス (案)	2005年農林業センサス	変 更 内 容
【3】農業集落内での活動状況 1 実行組合の有無 この農業集落には、実行組合がありますか。 該当するものひとつを○で囲んで下さい。 あるない ① ② 01 ① ②		(新設) 本項目においては、農村地域再生・活性化へのデータ提供及び農業集落機能把握のため、農業集落としての農業生産に係る共同作業の活動状況を目的に新たに把握
2 寄り合いの開催状況 この農業集落内において、過去1年間に「寄り合い」が開催されましたか。開催された場合は、その開催回数を記入し、寄り合いの議題について、該当するものすべてを○で囲んで下さい。 開 催 な し 開 催 回 数 ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ②		(新設) 本項目においては、農村地域再生・活性化へのデータ提供及び農業集落機能把握のため、農業集落としての農業生産及び生活共同体としての組織機能を新たに把握